

## 上質なコンテンツ制作を追求する 老舗ポストプロダクションを支える SkeedFileMessenger™

第 27 回日本アカデミー賞で最優秀録音賞を受賞するなど輝かしい実績を誇るアオイスタジオ様。1955 年に総合音響スタジオとして設立した同社は、大阪万国博や沖縄海洋博のイベント演出などを手掛け、現在は映像編集にも力を入れている。中でも映画作品の予告編は同社の主力分野であり、数分間で映画作品の魅力を存分に伝え切る高いクオリティを生み出すために社内外のクリエイターの巧みなコラボレーションと密な連携を実践している。SkeedFileMessenger™はその一助を成すツールとして重用されている。

### 課題

- 制作会社との音声ファイルを中心としたやり取りに活用してきた Digidelivery が数年前他社に買収され、実質的な後継製品もなく保守期間が経過。代替手段も見出せず
- 音声データなどのコンテンツ容量が増大傾向にあり、既に Digidelivery も機能的に限界を迎えていた

### 検討プロセス

- Skeedからの電話案内で SkeedFileMessenger を知り、営業担当者、取引先のシステムベンダへの確認を経て
- 導入決定要因は次の通り
  - 機能、価格面で類似製品および Digidelivery を大きく上回る点
  - 海外製品に比べてサポート面で信頼できる点

### 導入効果

- クライアント側に専用ソフトをインストールする必要がなく、設定・操作方法等の問合わせが殆どなくすぐ利用できる
- Digidelivery の 4 倍近い転送速度を実現し、作品の質、クリエイターの納得感も向上
- 撮影ロケ地での試写会取材データ転送も大きく改善。今後は海外映画祭での取材データも TV 局の衛星回線に頼らず転送する意向



### ■音響ファイル転送ツール Digidelivery のサポート切れで、代替方法を模索

アオイスタジオにとって第一の顧客は制作会社であり、さらにその向こうに TVCM なら広告代理店、映画なら配給会社がある。また、制作会社の中には比較的小規模な会社も少なくないが、こうした顧客やクリエイターとの素材や作品のやり取りは同社にとってごく自然な業務でありかつ重要なものだ。このワークフローを効率化することが、生産性ひいてはクリエイティビティの質に影響を与えることは至極当然といえる。

このやり取りは大きく 2 つの領域があり要件も異なる。1 つは編集工程での素材データの授受だが、これは送信側も受信側も毎回ほぼ同じメンバーであることが大半であり、転送方法なども共有しやすい。もう 1 つは完成したコンテンツの広告代理店、映画配給会社への確認のための授受だが、こちらはプロジェクト毎に担当者が異なるため、複雑な操作や手順の求められる転送ツールなどはあまり適さない。

そのため、同社ではこれまで音声データの制作会社とのやり取りは、音響制作で標準となっている録音編集ワークステーション ProTools に対応したファイル転送アプライアンス Digidelivery を活用し、他に転送方法の指定があればオンラインストレージなども利用してきた。また、広告代理店や映画配給会社などへの完成品の確認納品には CD や DVD をバイク便で物理搬送するなど適宜使い分けを図ってきた。

ただ、活用してきた Digidelivery は数年前他社に買収され、実質的な後継製品もリリースされず保守サポート期限は既に過ぎていた。アオイスタジオのシステム管理担当である山川朋浩氏は「結局、7 年ほどの間使い続けました。ただ最後は騙し騙し使いながら、代替手段を探し求めていました」と不安を抱えた日々を振り返る。

Digidelivery にこだわっていた理由は音響制作の業界内で認知されていたこともあるが、暗号化機能などセキュリティがある程度確保されていた点、そしてメールアドレスで送れるという手軽さにあった。「FireStorage の有償版などを検討しましたが、サーバが外部にあるためそれだけで嫌がる取引先もいらっしやいますし、大容量ファイルにも対応できない。高速転送で拠点間で転送する製品も検討しましたがメールアドレスだけで送れるような簡便性に欠けるということで、まさに帯に短し襷(たすき)に長しという状態でした」(山川氏)

## アオイスタジオ 株式会社 様



アオイスタジオ株式会社  
スタジオ技術部 ポストプログループ  
CG デザイナー  
コンピュータ・システム管理

山川 朋浩 氏



## アオイスタジオ株式会社

所在地：〒106-0045 東京都港区麻布十番  
1丁目1番14号

設立：1955年12月27日

人員数：100名（2012年4月1日）

業務内容：録音全般、ポストプロダクション、  
サウンドネガフィルム制作、イベント全般の企  
画制作、タレントの養成・斡旋、音響・映像・  
照明設備の企画・設計・施工、音響・映像・照  
明設備による環境演出、環境演出ソフトの企画  
・制作、各種映像ソフトの企画・制作、各種映  
像ソフトの企画・制作

## ■機能、価格、サポート全ての面で納得の導入決定

SkeedFileMessenger™の話を聞いたのは、まさにこの頃だった。Skeedからの電話で案内を受け、初めて存在を知ったのだという。「大体、こういった製品は展示会で見聞きしていたのですが、SkeedFileMessenger™も、Skeedについても全く知らなかったのです」（山川氏）

その後、Skeedの営業担当者から詳細な説明を受け、システム機器の導入パートナーに確認し、Digideliveryの機能を補って余りあると確信を得た山川氏は上長に相談。「機能、価格ともに納得できるものだから」と速やかに導入の決裁を得た。

その際、比較対象となったものに米国の某高速ファイル転送ソフトがある。UDPベースであり、転送性能自体はSkeedFileMessenger™と大差はない。しかし「価格面で倍以上と高価であり、海外製品なのでサポート面でも不安が大きかった」（山川氏）。実際、海外製品という点ではDigideliveryにも不満を持っていたという。「日本での使い方は彼ら海外ベンダーからみるとかなり特殊に映っているようで、改善を求めても後回しにされます。バージョンアップした際も2byteの文字だけおかしくなっていることもあります」

ちなみに、8GBの音声ファイルを転送しようとDigideliveryを使ったところで、同システムは使えなくなってしまったという。幸いにもSkeedFileMessenger™を導入して1か月後のことだった。「最近では音声ファイルだけでもどんどん大容量化している」（山川氏）という状況において、Digideliveryの利用はすでに限界を迎えていたともいえる。

## ■音響のみならず、海外など遠距離間の映像編集データ転送にも広がる用途

本格導入して既に5カ月余りが経過したが、SkeedFileMessenger™に対する評価は導入当初から上々のようだ。「DigideliveryはクライアントPCにも専用ソフトをインストールしなければならず、設定や操作方法の問い合わせはかなりありました。でもSkeedFileMessenger™はJavaWebStart型なので導入・設定の手間が一切なく、問い合わせもほとんどなく使ってもらえます」（山川氏）。そうしたユーザーフレンドリーなインターフェースに加えてメールアドレスで簡単に転送できることから、広告代理店や映画配給会社への確認納品にもSkeedFileMessenger™を使用している。

また、転送速度も飛躍的に向上した。アオイスタジオでは現在、1Gbpsの共用回線を使用しているが「Digideliveryでは最高にパフォーマンスが出た時でも25Mbps止まりでしたがSkeedFileMessenger™では100Mbps弱、つまり4倍近く出ます」（山川氏）。結果、クリエイターは時間一杯まで制作に費やし作品の質、納得感にも影響を与えている。

また、映画制作では完成後に撮影ロケ地で最初の予告編上映を行い、その模様を翌朝のワイドショーで放映するという要件が以前からあるが、遠方で行われる場合、編集データが間に合うかどうか常に切迫したスケジュールに見舞われていた。これもSkeedFileMessenger™の利用で解消され、取材クルーからも喜ばれているという。今後はさらに海外映画祭の取材にも役立てる意向だ。「これまで海外取材の編集データはTV局の衛星回線を借用していましたが、使える時間帯が限定され緊急案件が入ると使えない状況でした」（山川氏）。転送先が長距離になるほど威力を発揮するSkeedFileMessenger™の面目躍如である。

なお、アオイスタジオではSkeedFileMessenger™導入以降、音響関係の顧客のみならず、映像関連の顧客も増えているという。大容量ファイルを遠距離間で簡単かつセキュアに送れるというポテンシャルが新たなビジネスの機会を生み出しつつあるのかもしれない。